

◆インターネット活用教育実践コンクール実行委員会賞◆

〈学校教育部門〉

「命を見つめ健康を考える奇跡のIT活用」

島根県大原郡加茂町立加茂小学校

〒699-1106 島根県大原郡加茂町加茂中1031

■実践事例報告の概要

TV会議で、岡山の農業高校の牛舎の死ぬか生きるかの子牛の出産を島根の小学生が見守った。そして、つなぎっぱなしのTV会議で毎日牛の成長を見守りながら、命や食をテーマに健康について考えるプロジェクト学習を小学生が展開。農場からの生中継による共同学習を実施するなど、ITを活用した継続的な交流により、心がつながり、共に成長していく学習に取り組んだ。

実践のねらい

TV会議で、岡山の農業高校の牛舎の死ぬか生きるかの子牛の出産を島根の小学生が見守った。そして、つなぎっぱなしのTV会議で毎日牛の成長を見守りながら、命や食をテーマに健康について考えるプロジェクト学習を小学生が展開。農場からの生中継による共同学習を実施するなど、ITを活用した継続的な交流により、心がつながり、共に成長していく学習に取り組みたいと考えた。

特徴・工夫・努力した点

- ①TV会議はつなぎっぱなしで日常感覚…農業高校の牛舎と小学校の多目的スペースをつなぎ、毎日自由に交流できる環境
- ②先生は画面の中の農業高校生…農場から生中継のTV会議による共同授業
- ③IT+直接交流！…プレゼント交換や修学旅行での訪問など直接の交流も実現

実践内容

(1) TV会議による交流

農業高校の牛舎と小学校のフリースペースを日常的にTV会議でつなぎっぱなしにして、小学校からは常時牛の姿が見え、自由に交流ができるようにした（写真1）。放課後には互いに自由に会話を

するなど、日常的な交流ができた。

(2) TV会議による共同授業

「総合的な学習の時間」で、TV会議を使い農業高校生と小学生の共同授業を数回実施した（写真2）。農場からの生中継で、命や健康の大切さについて高校生に教えてもらう学習を継続的に行った。特に、野菜の新鮮な見分け方や無農薬栽培、添加物のないパン作りなど、農場からのTV会議（生中継）では、小学生は、強い関心を持ち、その後の意欲的な活動につながっていった。高校生にとっても小学生に教えるという活動を通して、自分の専門性に自信を持ったり、工夫して堂々と発表する力をつけたりするなど成長していった。

(3) 直接の交流

TV会議だけでなく、インターネットの掲示板を活用し、高校生がイラストの絵を描いたりしてくれ、交流が続いた。掲示板への書き込みによって子どもたちのパソコンのスキルがアップした。また、ITによる交流だけでなく、プレゼント交換や直接の交流も実現するなど心がつながる夢の交流が実現した。

実践結果

高校生に教えてもらって意欲的に活動する小学生。小学生に教えるために工夫して発表しながら、自分の専門性に自信を持つ高校生。数々の素敵なドラマが生まれ、両方が成長していき、次のよう



写真1・TV会議で子牛の出産を見守る子どもたち

な成果が得られた。

**(1)「食」の大切さを知り、自分の「体」を大切に
するようになった。**

実際の体験や健康ハンドブックを作る活動の中に、牛の成長を見守り、健康を考える共同授業を行うなどITを使った交流を取り入れることで、意欲や関心を持続でき、学習のねらいを達成することができた。

**(2) 年の違う人ともITを使って「知識」を伝え合
えるようになった。**

毎日のTV会議で自由に話したり、ネット上の掲示板を使って交流したり、コミュニケーションをする力がついた。

**(3) 高校生が自分の専門性に「自信」と誇りを持
つようになった。**

お互いに成長でき、価値のある交流となった。

(4) ITを身近に使えるようになった。

毎日のTV会議やメール交換、情報を集めたり、情報を伝えたりするためのツールとしてITを日常的に使えるようになった。

**(5) ポートフォリオを活用したプロジェクト学習に
より、考えながら活動し、成長を自覚できた。**

ポートフォリオ評価を取り入れ、未来教育プロジェクト学習の手法で取り組み、自分の成長に気づく学習ができた。

考察（今後の課題）

牛の誕生、手術、成長を見守りながら、手術の成功、共進会での牛親子の優勝、修学旅行での訪



写真2・岡山の農業高校との共同授業

問等、数々の奇跡のドラマが生まれ、子どもたちは命の大切さを学ぶことができた。この実践の成果を次のようにまとめた。

○TV会議をイベント的に行うのではなく、継続して毎日つなぎっぱなしで行うことで、ITを身近に感じ、日常的に使うことができた。ITを継続して使うことで、特別視しないで自然な形で交流ができた。

○仔牛の生命の誕生から成長を見守り、牛舎を結んでのTV会議だったことが子どもたちの関心や意欲を持続させた。

○TV会議やメール、掲示板などITによる交流だけでなく、プレゼント交換や直接の交流を組み込んだり、実際の体験的な活動と共にITを利用した共同授業を取り入れたりするなど、実体験とITによるバーチャル体験をうまく取り入れることで、交流が深まった。

○小学生と高校生という年の違う異校種間の交流、共同授業により、お互いに相手を意識した意欲的な学習ができ、両方が成長するという成果が生まれた。

今回の実践は、「学校インターネット」のネットワークを利用したTV会議であった。システム上の問題で音声とぎれてしまうなどの問題が生じる場合もあった。今後は、安定した回線でのTV会議が自由にできる環境作りが課題である。また、今回は担当者同士がよく連絡をとり、TV会議等で話し合っ調整を進めていった。連絡・相談の手段としてのTV会議の活用についても、さらに考えていきたい。